

大垣市奥の細道むすびの地記念館
学 芸 事 業 報 告 書

令和元年度

大垣市教育委員会

目 次

1	展示活動	1
(1)	常設展示	1
(2)	企画展示	2
①	第 25 回企画展 芭蕉の真筆でたどる『奥の細道』⑥ ～片雲の風に誘われて 旅立ち前夜～	2
②	第 26 回企画展 博士のまち・大垣④ 鉄道敷設の大家で橋梁学の工学博士那波光雄	4
③	第 27 回企画展 芭蕉と門人① ～伊賀の蕉門俳人たち～	6
2	教育・普及活動	8
(1)	一般向けの活動	8
①	企画展関連講座	8
②	連続講座 佐藤勝明先生とたどる『奥の細道』の豊かな世界	8
③	ギャラリートーク	9
(2)	子ども向け活動・学校との連携活動	10
(3)	博物館実習	13
(4)	講師派遣	14
3	資料の収集活動	15
(1)	寄附資料	16
(2)	購入資料	18
(3)	預託資料	19
(4)	資料補修	19

1 展示活動

(1) 常設展示

江戸時代の大垣は、城下町・宿場町・港町という3つの要素をそなえており、東西交通の要所、また、東西文化の結節点として、経済・文化が大きく発展した地であった。経済力・文化力の高さは、俳人松尾芭蕉が『奥の細道』の旅を大垣で終えたことや、江戸時代以降に大垣からさまざまな分野の先賢が輩出したこととも深いつながりがある。

常設展示では、大垣の経済や文化と関わりが深い松尾芭蕉の『奥の細道』と、大垣ゆかりの偉人である先賢について紹介している。

① 芭蕉館

芭蕉館では、松尾芭蕉の『奥の細道』について、ゆかりの資料や映像を交えながら紹介している。「月日は百代の過客にして」で始まる発端の場面から、旅のむすびの地大垣までの場면을、日光路・奥州路・出羽路・北陸路の4つの旅路に分けて紹介し、『奥の細道』全体を深く味わえる展示になっている。

館内の各所には、『奥の細道』の代表的な場면을再現したジオラマを設置しているほか、『奥の細道』の和装本や旅衣装など手で触れるレプリカも展示している。

また、芭蕉の人柄についてもパネルで紹介し、“俳人芭蕉”だけでなく、“人間芭蕉”の魅力にも触れることができる。

② 先賢館

先賢館では、江戸時代後期から幕末・維新期にかけて活躍した大垣ゆかりの先賢5人を紹介している。蘭方医の江馬蘭斎、植物学者の飯沼慾斎、女流漢詩人の江馬細香、漢詩人の梁川星巖、大垣藩重臣で文人の小原鉄心について、ゆかりの資料と映像を通じて、その生涯と偉業を紹介する。

また、先賢各人の交遊関係についても紹介している。大垣の先賢が日本史上の著名な人物たちと幅広いつながりがあったことを示す。

(2) 企画展示

松尾芭蕉・『奥の細道』と大垣の先賢を紹介する企画展を、春・夏・秋の年3回開催している。春・秋は松尾芭蕉や『奥の細道』関連の企画展、夏は大垣の先賢関連の企画展を開催している。

① 第25回企画展 芭蕉の真筆でたどる『奥の細道』⑥ ～片雲の風に誘われて 旅立ち前夜～

1) 内 容

『奥の細道』では、冒頭から旅立ちの場面にかけて、主人公が旅への思いを募らせて落ち着かない様子や、親しい人々との別れを惜しむ姿が描き出されている。こうした描写には、作者である芭蕉の実体験が踏まえられている。

芭蕉は、元禄2年(1689)正月を迎えた頃から『奥の細道』の旅への思いを募らせる。そして、親しい門人らに旅の予定や思いを述べた手紙を送ったり、江戸の門人らと別れを惜しんで俳席を設けたりしながら、旅立ちに向けた準備を進めていく。

本企画展では、『奥の細道』の旅に出立する直前の芭蕉の様子や旅に込めた思いについて、芭蕉真筆などを通じて紹介した。

2) 会 期 平成31年3月30日(土)～令和元年5月12日(日)

3) 会 場 1階企画展示室

4) 主 催 大垣市・大垣市教育委員会

5) 入館者数 5,669人

6) 出品点数 22点(パネル展示は除く)

7) 主な展示資料

- ・元禄2年2月15日付林桐葉宛芭蕉書簡(個人蔵)
- ・元禄2年3月23日付安川落梧宛芭蕉書簡
(三国路与謝野晶子紀行文学館蔵)
- ・芭蕉筆「かげろふの」歌仙(個人蔵)
- ・芭蕉筆「月花を」句文自画賛(個人蔵)
- ・芭蕉筆「あら野ゝ序」懷紙(個人蔵)
- ・芭蕉筆「ちりうせぬ」句文懷紙(山寺芭蕉記念館蔵)
- ・『おくのほそ道』(丈草本)(山寺芭蕉記念館蔵)
- ・和田杜苓宛仙石廬元坊書簡(個人蔵) ほか

8) 関連事業 企画展関連講座(8頁に掲載)

ギャラリートーク(9頁に掲載)

9) 印刷物 ポスター・チラシ・図録(カラー32頁)

3

② 第26回企画展 博士のまち・大垣④

鉄道敷設の大家で橋梁学の工学博士那波光雄

1) 内 容

「今は山中、今は浜、今は鉄橋渡るぞと、思う間も無くトンネルの、闇を通って広野原…」(文部省唱歌『汽車』、明治45年)と歌われているように、国土面積の約7割を山地が占め、3万を超す川が流れる日本では、「トンネル」や「橋梁」の建設が不可欠である。

鉄道網拡張のための土木工事は、「文明開化」や「富国強兵」を掲げる明治政府にとって一大事業であった。そうした中で、明治中期から大正期にかけてそれまで海外技術に頼っていた橋梁設計技術の国産化に貢献したのが、大垣出身の那波光雄である。

本企画展では、独創的な発想で工事技術の改良に尽力した那波光雄の生涯について、ゆかりの人物たちとの交流を交えながら紹介した。

2) 会 期 令和元年7月20日(土)～令和元年9月1日(日)

3) 会 場 1階企画展示室

4) 主 催 大垣市・大垣市教育委員会

5) 入館者数 3,074人

6) 出品点数 39点(パネル展示は除く)

7) 主な展示資料

- ・関西鉄道写真帳(鉄道総合技術研究所蔵)
- ・関西鉄道汽車時間表(京都鉄道博物館蔵)
- ・Design for a skew bridge-work for the Tuge-Nara Line
(京都大学附属図書館蔵)
- ・明治37・38年戦役号集「京都帝国大学 那波光雄」(岐阜県歴史資料館蔵)
- ・第9回国際鉄道会議と伊国の鉄道に就て(鉄道博物館蔵)
- ・鉄道の回顧(東京工業大学附属図書館蔵)
- ・留学先から家族に宛てた絵葉書(個人蔵)
- ・関西鉄道揖斐川橋梁・木津川橋梁等工事風景写真(当館蔵) ほか

8) 関連事業 企画展関連講座(8頁に掲載)

ギャラリートーク(9頁に掲載)

9) 印刷物 ポスター・チラシ・図録(カラー32頁)

330 奥の細道むすびの地記念館 第26回企画展

博士のまち・大垣 ④

鉄道敷設の大家で 橋梁学の工学博士・那波光雄

企画展関連講座
（記念館 多目的室1）

那波光雄とその時代
～鉄道技術の国産化とともに～
8/18(日) 14:00～15:30
講師：小野田 滋氏
（鉄道総合技術研究所 情報管理課副所長）

受講料無料 定員 80名
※申込要 申込締切8/17(土)

令和元年 7/20(土)～9/1(日)
開館時間 9:00～17:00

ところ 大垣市奥の細道むすびの地記念館
1階 企画展示室

★第27回 企画展★
芭蕉と門人①～伊賀の寛門俳人たち～
10月5日(土)～11月17日(日)

大垣市奥の細道むすびの地記念館
〒503-0923 岐阜県大垣市稲町2丁目26番地1 TEL 0584-64-8430

主催：大垣市・大垣市教育委員会
問い合わせ先：文化振興課 〒503-0856 岐阜県大垣市奥の細道むすびの地55番地
TEL 0584-47-8067(直通) FAX 0584-81-0715 <http://www.city.gakai.jp/>

施設案内

施設名称	所収品	観覧料	備考
一般300円 団体150円 (15歳未満は半額)			
開館時間	午前9時～午後5時 午前9時～午後3時		
休館日	祭休(ただし、12月28日～1月3日は除く)		

QRコード

チラシ（表）

「今は山中、今は浜、今は鉄橋渡るぞと
思う間も無くトンネルの闇を通して広野原！」
～文部省明歌「汽車」、明治45年と謳われているように
国土面積の約7割を山地が占め、3万を超す川が流れる日本では
「トンネルや、橋梁の建設が不可欠です」
鉄道網拡充のための土木工事は、文明開化や、富国強兵を
掲げる明治政府にとって一大事業でした。
そうした中で、明治中期から大正期にかけて
それまで海外技術に頼っていた橋梁設計技術の
国産化に貢献したのが、大垣出身の那波光雄です。
光雄は、関越鉄道組用橋梁の難工事を成功させ
日本橋ではデリッククレーンを用いて橋梁架設工事の機械化に
取り組みました。また、京都帝国大学などで鉄道工学を
教える後進を育成しました。
第26回企画展では、独創的な発想で工事技術の改良に尽力した
那波光雄の生涯について、ゆかりの人物たちとの交流や
資料を交えながら紹介します。
この夏あなたのお気に入りの橋を見つけてみましょう。

展示品

- ・関越鉄道組用（鉄道総合技術研究所蔵）
- ・明治45年明歌「汽車」（岐阜県博物館蔵）
- ・Copyright show bridge-work for the Taiga Nara River（京大工学部蔵）
- ・明治37-38年建設司書「京都府大津市 那波光雄」（岐阜県立歴史博物館蔵）
- ・鉄道組用（東京大学工学部蔵）
- ・鉄道組用（東京大学工学部蔵）
- ・関越鉄道組用（東京大学工学部蔵）

企画展関連講座

日 程	8月18日(日) 14:00～15:30
テ マ	那波光雄とその時代 ～鉄道技術の国産化とともに～
講 師	小野田 滋氏（鉄道総合技術研究所情報管理課副所長）
場 所	奥の細道むすびの地記念館 多目的室1
定 員	80名
受 講 料	無料

申込み方法
問い合わせ先

申込用紙に必要事項を記入して、文化振興課へ郵送・持参・FAXまたは
奥の細道むすびの地記念館ホームページ(<http://www.basho-ogaki.jp/>)より
TEL 0584-47-8067(直通) FAX 0584-81-0715

※詳細は奥の細道むすびの地記念館ホームページ等でお知らせします。

奥の細道むすびの地記念館 企画展関連講座
那波光雄とその時代 ～鉄道技術の国産化とともに～
参加申込用紙

名 前

住 所

電話・FAX番号

電話

FAX

※申込者の個人情報は、正誤に替り、本事業以外の目的には一切使用しません。

チラシ（裏）

③ 第27回企画展 芭蕉と門人①

～伊賀の蕉門俳人たち～

1) 内 容

「蕉門俳人」と称される芭蕉の門人たちは、貞享年間（1684～88）以降、江戸以外の各地にも生まれてくる。それは、芭蕉が新しい俳風を求めて各地を旅したためである。芭蕉の出身地である伊賀（現・三重県）も、代表的な門人たちが輩出した地の一つである。

芭蕉は、『笈の小文』の旅中や『奥の細道』の旅後など、折に触れて郷里の伊賀に立ち寄り、門人たちとともに俳席を設けて交歓している。また、伊賀から離れた地にいても、しばしば門人たちに宛てて手紙を送っており、親しく交流していた様子が見え隠れする。

本企画展では、芭蕉と伊賀の門人たちとの交流や、門人たちの俳諧活動について、ゆかりの手紙や作品を通じて紹介した。

2) 会 期 令和元年10月5日（土）～令和元年11月17日（日）

3) 会 場 1階企画展示室

4) 主 催 大垣市・大垣市教育委員会

5) 入館者数 5,574人

6) 出品点数 18点（パネル展示は除く）

7) 主な展示資料

・元禄3年正月5日付式之・槐市宛芭蕉書簡（今治市河野美術館蔵）

・元禄4年5月10日付半残宛芭蕉書簡（今治市河野美術館蔵）

・元禄4年5月10日付意専宛芭蕉書簡（個人蔵）

・元禄7年正月20日付意専宛芭蕉書簡（芭蕉翁顕彰会蔵）

・土芳筆「どこ浦の」句文懐紙（芭蕉翁顕彰会蔵）

・猿雖筆「荒ゝて」句自画賛（芭蕉翁顕彰会蔵）

・配力・土芳・雪芝・車来「肩衣の」歌仙（個人蔵）

・土芳筆「ほとゝぎす」句短冊（柿衛文庫蔵）

・元禄13年10月12日付土芳宛風麦書簡（柿衛文庫蔵）

ほか

8) 関連事業 企画展関連講座（8頁に掲載）

ギャラリートーク（9頁に掲載）

9) 印刷物 ポスター・チラシ・図録（カラー32頁）

芭蕉と門人①

伊賀の蕉門俳人たち

奥の細道むすびの地記念館 第27回企画展

伊賀蕉門の俳諧 土井

伊賀上野の俳人 松澤

令和元年 10/5(土) ~ 11/17(日)

開館時間 9:00~17:00

ところ 大垣市奥の細道むすびの地記念館 1階 企画展示室

大垣市奥の細道むすびの地記念館
〒503-0923 岐阜県大垣市船町2丁目26番地1 TEL 0584-84-8430

主催 大垣市・大垣市教育委員会
問い合わせ先 文化振興課 〒503-0888 岐阜県大垣市丸の内2丁目55番地
TEL 0584-47-9067(直話) FAX 0584-81-0715 http://www.city.ogaki.jp/

企画展関連講座
(記念館 多目的室1)

ふるさと伊賀における芭蕉の俳交
11/3(日) 14:00~15:30
講師 高井 悠子氏 (芭蕉記念館学芸員)

受講料無料 定員80名
※事前申込あり (9月25日(月)まで)

ギャラリーートーク
(学芸員による企画展示解説)

〈企画展示室〉
10/6(日)・10/13(日)
11/10(日)・11/17(日)
いずれも 15:00~ 30分程度

事前申込み不要 参加費無料
(ただし、入館料は必要)

施設案内

施設名称	収容数	備考
一般300円 団体150円 (1日最大収容人数)	無料	
拝観時間	午前9時~午後5時	午後9時~午後9時
休館日	祭日(ただし、10月の祭・11月の祭は除く)	

QRコード

奥の細道むすびの地記念館

チラシ (表)

「蕉門俳人」と称される芭蕉の門人たちは、貞享年間（一六八四〜一六八八）以降江戸以外の各地にも生まれてきます。それは、芭蕉が新しい俳風を求めて各地を旅したためです。芭蕉の出身地である伊賀現（三重県）も、代表的な門人たちが輩出した地の一つです。芭蕉は、一発の小文の俳中や、奥の細道の旅後など折に触れて、芭蕉の伊賀に立ち寄り、門人たちとともに俳諧を説いて交遊しています。また、伊賀から離れた地においても、しばしば門人たちに宛てて手紙を送っており、親しく交流していた様子がうかがえます。第二十七回企画展では、芭蕉と伊賀の門人たちの交流や、門人たちの俳諧活動について、ゆかりの手紙や作品を通じて紹介します。

伊賀上野の芭蕉を祀る「芭蕉（地蔵堂）伊賀市船町2丁目55番地」

展示品

- 元禄3年正月5日付式之・物作宛芭蕉書翰（今治市河野美術館蔵）
- 元禄4年5月10日付半紙宛芭蕉書翰（今治市河野美術館蔵）
- 元禄4年5月10日付半紙宛芭蕉書翰（個人蔵）
- 元禄7年正月20日付書翰宛芭蕉書翰（芭蕉記念館蔵）
- 土佐藩（土佐藩）宛芭蕉書翰（芭蕉記念館蔵）
- 徳川幕府（幕府）宛芭蕉書翰（芭蕉記念館蔵）
- 肥後・土佐・徳川・幕府（幕府）宛芭蕉書翰（個人蔵）
- 土佐藩（土佐藩）宛芭蕉書翰（芭蕉記念館蔵）
- 元禄13年10月12日付土佐宛芭蕉書翰（芭蕉記念館蔵）
- 貞享年間 杉尾藩宛 芭蕉書翰（芭蕉記念館蔵）

企画展関連講座

日 程	11月3日(日) 14:00~15:30
テ マ	ふるさと伊賀における芭蕉の俳交
講 師	高井 悠子氏 (芭蕉記念館学芸員)
場 所	奥の細道むすびの地記念館 多目的室1
定 員	80名
受 講 料	無 料

申込み方法
問い合わせ先

申込用紙に必要事項を記入して、文化振興課へ郵送・持参・FAXまたは、奥の細道むすびの地記念館ホームページ（http://www.basho-ogaki.jp/）より 〒503-0888 岐阜県大垣市丸の内2丁目55番地 大垣市教育委員会 文化振興課 TEL 0584-47-9067(直話) FAX 0584-81-0715

※詳細は奥の細道むすびの地記念館ホームページ等でお知らせします。

奥の細道むすびの地記念館 企画展関連講座
ふるさと伊賀における芭蕉の俳交
参加申込用紙

ふりがな

名 前

住 所

電話・FAX番号

電話

FAX

※申込みの個人情報は、申込に際して、本事業以外の目的には一切使用しません。申込み受付の書類については連絡しません。当日、会場にお越しください。

チラシ (裏)

2 教育・普及活動

(1) 一般向けの活動

① 企画展関連講座

月 日	内 容	講 師	参加者
平成 31 年 4 月 21 日(日)	第 25 回企画展関連講座 草の戸も住替る代ぞ —『おくのほそ道』の発端を読む—	和光大学教授 深沢 眞二	83 人
令和元年 8 月 18 日(日)	第 26 回企画展関連講座 那波光雄とその時代 —鉄道技術の国産化とともに—	鉄道総合技術研究所 情報管理部担当部長 小野田 滋	90 人
11 月 3 日(日)	第 27 回企画展関連講座 ふるさと伊賀における芭蕉の俳交	芭蕉翁記念館学芸員 高井 悠子	46 人

② 連続講座 佐藤勝明先生とたどる『奥の細道』の豊かな世界

『奥の細道』の旅から 330 年の節目を記念して、平成 30 年に総合監修者の佐藤勝明氏が執筆した著書『全文を読み切る『奥の細道』の豊かな世界』をテキストとする連続講座を開催した。

月 日	内 容	講 師	参加者
令和元年 6 月 22 日(土)	第 1 回 旅の始まり —発端～日光—	和洋女子大学教授 佐藤 勝明	89 人
6 月 23 日(日)	第 2 回 白河を越える —那須野～須賀川—	和洋女子大学教授 佐藤 勝明	94 人
8 月 24 日(土)	第 3 回 歌枕探訪 —安積～多賀城—	和洋女子大学教授 佐藤 勝明	94 人
8 月 25 日(日)	第 4 回 松島と平泉 —塩竈～平泉—	和洋女子大学教授 佐藤 勝明	92 人
12 月 14 日(土)	第 5 回 出羽へ出る —尿前～出羽三山—	和洋女子大学教授 佐藤 勝明	89 人
12 月 15 日(日)	第 6 回 “契”の諸相 —鶴岡～越中路—	和洋女子大学教授 佐藤 勝明	80 人
令和 2 年 2 月 22 日(土)	第 7 回 別離を重ねて —金沢～永平寺—	和洋女子大学教授 佐藤 勝明	79 人
2 月 23 日(日)	第 8 回 再び旅へ —福井～大垣—	和洋女子大学教授 佐藤 勝明	91 人

※例年開催しているおおがき芭蕉大学・先賢大学及び総合監修者講演会は休講とした。
また、第 5 回・第 6 回は、10 月 12 日(土)・13 日(日)に開催を予定していたが、台風接近に伴い、順延となり、第 5 回以降は、日程を繰り下げた。

③ ギャラリートーク

月 日	内 容	講 師	参加者
平成 31 年 3 月 31 日(日)	第 25 回企画展ギャラリートーク	担当学芸員	13 人
4 月 7 日(日)			5 人
4 月 14 日(日)			4 人
令和元年 5 月 5 日(日)			8 人
5 月 12 日(日)			16 人
7 月 21 日(日)	第 26 回企画展ギャラリートーク	担当学芸員	9 人
8 月 4 日(日)			7 人
8 月 25 日(日)			5 人
9 月 1 日(日)			11 人
10 月 6 日(日)	第 27 回企画展ギャラリートーク	担当学芸員	7 人
10 月 13 日(日)			1 人
10 月 27 日(日)			19 人
11 月 10 日(日)			1 人

(2) 子ども向け活動・学校との連携活動

① 大垣市内小学校 6 年生見学事業

市内小学校全 22 校、1,467 人（引率職員を含む）を受け入れた。

令和元年度 大垣市内小学6年生奥の細道むすびの地記念館見学日程

学校名 (大垣市内22校対象)		参加人数 (人)				日程		
		児童	引率 職員	計	クラス	月日	曜	見学時間
1	時 小学校	7	2	9	1	6月5日	水	12:45～14:40
2	宇留生 小学校	81	4	85	2	6月14日	金	12:30～14:30
3	西 小学校	92	3	95	3	6月17日	月	9:10～11:10
4	牧田 小学校	16	2	18	1	6月20日	木	13:00～14:55
5	一之瀬 小学校	4	1	5	1	6月21日	金	13:00～14:55
6	青墓 小学校	58	3	61	2	6月27日	木	13:15～15:15
7	墨俣 小学校	47	2	49	2	6月28日	金	13:00～15:00
8	東 小学校	69	4	73	2	7月1日	月	9:30～11:30
9	静里 小学校	64	3	67	2	7月2日	火	9:15～11:15
10	綾里 小学校	30	2	32	1	7月3日	水	9:15～11:15
11	中川 小学校	133	5	138	4	7月5日	金	9:30～11:30
12	安井 小学校	123	5	128	4	7月10日	水	9:20～11:20
13	赤坂 小学校	74	3	77	2	7月16日	火	9:10～11:10
14	南 小学校	53	5	58	2	10月2日	水	9:10～11:10
15	荒崎 小学校	47	3	50	2	10月4日	金	9:05～10:50
16	興文 小学校	99	3	102	3	10月8日	火	9:05～11:05
17	江東 小学校	88	3	91	3	10月10日	木	9:10～11:10
18	北 小学校	112	4	116	3	10月15日	火	9:25～11:25
19	日新 小学校	38	2	40	1	10月21日	月	13:20～15:05
20	川並 小学校	21	2	23	1	10月25日	金	9:00～10:50
21	多良 小学校	15	2	17	1	11月19日	火	9:10～10:55
22	小野 小学校	128	5	133	4	11月29日	金	9:15～11:15
合計		1,399	68	1,467	—			

1) 目 的

芭蕉や俳句に対する興味関心を高めるとともに、郷土や先賢の偉業に対する理解を深め、ふるさとを愛する態度を養う。

2) 学習内容

- ・ AV シアターの映像視聴で松尾芭蕉と奥の細道紀行について学ぶ。
- ・ 芭蕉館・先賢館において、担当者による展示解説などを通して松尾芭蕉や大垣の先賢等について学ぶ。
- ・ 船町川湊を散策し、名勝「奥の細道の風景地」の景観に触れ、俳句の種を見つける（十六万市民投句に投句する）。

見学例（6月17日 西小学校）

時間	A	B	C
9:10～ 10:00	先賢館・無何有荘 AV シアター	川湊散策 俳句作り	AV シアター 芭蕉館
10:00～ 10:35	芭蕉館	先賢館・無何有荘 AV シアター	川湊散策 俳句作り
10:35～ 11:10	川湊散策 俳句作り	芭蕉館	先賢館・無何有荘

② よろづ芭蕉相談室

夏休みの自由研究や調べ学習のため、松尾芭蕉や『奥の細道』、大垣の先賢などに関心を持つ子どもたちに向けて、相談会を開催した。

月 日	参加者
7月31日(水)	1人（中学校1年生：1）
8月1日(木)	1人（中学校3年生：1）

③ その他

大垣市内小学校 6 年生見学事業やよろづ芭蕉相談室の他に、依頼に応じて実施した子ども向け活動・学校との連携活動は、以下のとおりである。

月 日	活動内容	備 考
令和元年 5 月 16 日(木)	The Basho Theater 座・芭蕉劇場 ―振り返る 『奥の細道』 芭蕉・ 曾良― (寸劇)	岐阜県立関特別支援学校
6 月 14 日(金)	The Basho Theater 座・芭蕉劇場 ―振り返る 『奥の細道』 芭蕉・ 曾良― (寸劇)	岐阜県立西濃高等支援学校
6 月 25 日(火)	『奥の細道』と松尾芭蕉 (展示案内)	清凌高等学校
8 月 3 日(土)	『奥の細道』と松尾芭蕉 (展示案内)	清凌高等学校
8 月 21 日(水)	大垣藩校とその学習内容 (講義)	大垣市立興文小学校開校記念 行事 (5 年生)
12 月 23 日(月)	The Basho Theater 座・芭蕉劇場 ―振り返る 『奥の細道』 芭蕉・ 曾良― (寸劇)	大垣市立西小学校 5 年生 「総合的な学習の時間」
令和 2 年 1 月 18 日(土)	The Basho Theater 座・芭蕉劇場 ―振り返る 『奥の細道』 芭蕉・ 曾良― (寸劇)	大垣市立興文小学校 3 年生 「ふるさと大垣科」
2 月 19 日(水)	大垣と芭蕉 (講義)	大垣市立西中学校 1 年生 「ふるさと大垣科」

(3) 博物館実習

4 大学、4 人を受け入れた。

① 実習概要

日 時	令和元年 7 月 19 日（金）～25 日（木） 8:30～16:30
場 所	7 月 19 日（金） 奥の細道むすびの地記念館 20 日（土） 大垣市守屋多々志美術館 21 日（日） 昼飯大塚古墳・歴史民俗資料館・金生山化石館 スイトピアセンター（3 階収蔵庫・会議室 3） 22 日（月） スイトピアセンター（アートギャラリー・会議室 3） 24 日（水） 奥の細道むすびの地記念館 25 日（木） 大垣市立図書館・北庁舎南館
実習生	岐阜女子大学 文化創造学部 文化創造学科 1 名 東海学園大学 人文学部 人文学科 1 名 滋賀県立大学 人間文化学部 人間関係学科 1 名 大正大学 文学部 歴史学科 1 名

② 実習内容

実習日	実習内容
7月19日	担当：上嶋康裕 学芸員、山崎和真 学芸員 1) 講話「所蔵作品、資料の管理について」 ・収蔵庫の見学と管理のしかた、留意点について ・歴史資料を扱う際のルールや注意すること 2) 講話「展示見学」 ・展示資料の解説 ・展示の工夫 3) 実習「地域に残る古文書の現状記録作業」 2グループ（2人ずつ）に分かれて、以下の実習を行った。 ・赤坂宿本陣関係文書の現状記録調査カードへの記入 ・写真及びスケッチによる記録 ・中性紙封筒への保存の仕方 ・古文書の読み取り実習（くずし字用例辞典の活用） ・古文書の開き方やたたみ方
7月24日	担当：上嶋康裕 学芸員、山崎和真 学芸員 1) 実習「企画展等展示及びギャラリートーク実習」 ・上嶋学芸員による企画展ギャラリートークをもとにした実習 ・作品解説実習 2) 実習「地域に残る古文書の現状記録作業」 ・赤坂宿本陣関係文書の現状記録作業

(4) 講師派遣

月 日	講座・講演会名	内 容
令和元年 5月6日(月)	JEUGIA カルチャーご当地講座	歴史ロマンス歴食 中山道赤坂宿で味わう「皇女和宮御膳」と赤坂宿散策
7月22日(月)	大垣市かがやき出前講座	大垣市の先賢 那波光雄について —鉄道技術の国産化を目指して—
9月19日(木)	大垣市かがやき出前講座	世界初の地震学教授関谷清景 —その生涯と人柄—
11月6日(水)	第44回東海三県博物館協会研究交流会	奥の細道むすびの地記念館と観光
11月23日(土)	大垣夢ある女性の会公開講座	女流文人江馬細香と梁川紅蘭
12月4日(水)	大垣市かがやき出前講座	西美濃の名所と詩歌
令和2年 1月8日(月)	大垣市かがやき出前講座	谷正保の生業と風雅 —大垣船町の船問屋九太夫と大垣俳壇の重鎮木因—

3 資料の収集活動

奥の細道むすびの地記念館は大垣の歴史と文化を世界発信するため、次の3分野に関連する資料を積極的に収集し、それらを保管、公開（情報発信）及び専門研究を行うことを基本的な柱とする。

I 芭蕉館に関連する資料の収集について

- i 松尾芭蕉、『奥の細道』、大垣蕉門、岐阜蕉門、全国の元禄期俳人、美濃派道統、近世俳諧史に関連する人物の資料と関連情報を調査・収集し、それらの保管、公開（情報発信）及び専門研究を行う。
- ii 「i」に関連する資料であれば、必要に応じて比較資料や参考資料も収集対象とする。
- iii 貸出用、普及行事用、展示用資料として写本、拓本、写真、刊行物、複製品等の二次資料も収集対象とする。
- iv 特に松尾芭蕉、『奥の細道』、大垣蕉門、岐阜蕉門に関連する資料は網羅的に収集する。

II 先賢館に関連する資料の収集について

- i 江馬蘭斎・飯沼慾斎・江馬細香・梁川星巖・小原鉄心の五先賢に関連する資料及び五先賢に関連する重要人物の資料と関連情報を調査・収集し、それらの保管、公開（情報発信）及び専門研究を行う。
- ii 「i」に関連する資料であれば、必要に応じて比較資料や参考資料も収集対象とする。
- iii 貸出用、普及行事用、展示用資料として写本、拓本、写真、刊行物、複製品等の二次資料も収集対象とする。

III 大垣の歴史と文化を研究するための資料の収集について

- i 大垣の歴史や文化を知る上で、重要と思われる中世から戦前期までの出来事や人物の資料と関連情報を調査・収集し、それらの保管、公開（情報発信）及び専門研究を行う。
- ii 大垣の歴史や文化を知る上で、良好な状態で保管が必要と思われる資料や国・県・市指定の重要文化財等も収集対象とする。

収蔵資料点数

	館蔵資料	預託資料	合 計
点 数	1,743 点	265 点	2,008 点

令和元年度の新規収蔵資料及び資料補修は、以下のとおりである。

(1) 寄附資料

資 料 名	数 量	時 代
『夏ごろも』	1 冊	江戸中期
『難陳二百韻』	1 冊	江戸中期
『三疋猿』	1 冊	江戸中期
『後の旅集』(写本)	1 冊	昭和
『続都ぶり』(写本)	1 冊	昭和
『風羅翁遺誠称鑰』(写本)	1 冊	昭和
『深川集』(写本)	1 冊	江戸後期以降
『あら野』下巻	1 冊	江戸後期以降
『堅田集』	1 冊	江戸後期以降
『竹馬集』	4 冊	江戸前期
『江湖』	1 冊	江戸中期
『ながら川』(写本)	1 冊	江戸中期
『夜話の谷響』	1 冊	江戸後期
『かさなる秋』	1 冊	江戸後期
『春の山』	1 冊	江戸後期
『納涼薺蔭』	1 冊	江戸後期
『俳諧哥まくら』	1 冊	江戸中期
『月よ華』天巻	1 冊	江戸後期
『枝折集』巻三・五	2 冊	江戸後期
『夢見草』	1 冊	江戸後期
『道の種 華甲集』	1 冊	昭和
那波光雄の学位記(工学博士)	1 枚	明治
文政3年4月18日付江馬細香宛頼山陽書簡	1 幅	江戸後期
『新撰大和詞』(再校)上・下巻	2 冊	江戸中期
『和漢百花賦』	1 冊	江戸中期
『つれづれの讃』巻一・二・四	3 冊	江戸中期
『花供養』巻一・三・四・五・六・七・八・九	8 冊	江戸中期
寛保3年3月19日付免湘宛盧元坊書簡	1 幅	江戸中期
目録(朝越痴仙氏所蔵品入札)	1 冊	大正
目録(京都市某男爵家及中京某旧家所蔵品)	1 冊	大正
もくろく(戸田虚心庵並某家所蔵品売立)	1 冊	昭和
もくろく(大垣市日下部家所蔵品売立)	1 冊	昭和
目録(東濃野呂嵩軒・西区小坂井家・中区堀田麗聖軒外某家所蔵品売立)	1 冊	昭和
もくろく(中島郡起町錦野久四郎氏所蔵品売立)	1 冊	昭和

資 料 名	数 量	時 代
もくろく（名古屋市中区紅塵亭高木太郎氏所蔵品売立）	1 冊	昭和
もくろく（大垣市東船町安田含雪窓並ニ熊澤家遺愛品売立）	1 冊	昭和
もくろく（京都市春風庵・松山市田中両家及某家所蔵品入札）	1 冊	昭和
もくろく（名古屋市東区水野梨窓庵並某家所蔵品売立）	1 冊	昭和
『東山万句』	2 冊	江戸中期
『桜のゆるし』 卷一・三・四・五	4 冊	江戸後期
鈴木朱雀画 芭蕉・其角・嵐雪図	1 幅	大正～昭和
『三物拾遺』 上巻	1 冊	江戸中期
『発願文』	1 冊	江戸中期
吟風画・清微賛「けふばかり」句芭蕉坐像	1 幅	大正
大谷文寿坊筆「蛍籠に・ほたるほたる」句文懷紙	1 幅	明治
『菊の十歌仙』（写本）	1 冊	江戸後期
青木奚花坊筆「涌くやいづみ」句文懷紙	1 幅	江戸後期

(2) 購入資料

資 料 名	数 量	時 代
『俳諧芭蕉行状記』	1 冊	江戸後期
『花供養』(天保 13 年)	1 冊	江戸後期
『花供養』(安政 3 年)	1 冊	幕末
8 月 5 日付野村藤陰宛鴻雪爪書簡 付 詩稿詩箋 3 枚	1 通	明治
市川少蔵宛小原鉄心書簡卷子	3 卷	幕末～明治
『むかしみの』	1 冊	江戸後期
『松蘿集』春・夏巻	1 冊	江戸後期
『芭蕉堂歌仙図 (芭蕉堂中所在三十六人肖像)』	1 冊	江戸後期
『菅蓑集』	1 冊	明治
『花せんふ』	1 冊	江戸後期
『まほろし』	1 冊	江戸後期
『葉々集』	1 冊	江戸後期
『芭蕉庵小文庫』下巻	1 冊	江戸中期
『花供養』(安政 5 年)	1 冊	幕末
『杖の迹』上巻	1 冊	江戸後期
「石山寺名所之図」	1 枚	幕末
「信濃国善光寺畧絵図」	1 枚	江戸後期
「寢覚山臨川寺図」	1 枚	江戸後期
『俳諧第一義集』乾・坤巻	2 冊	江戸後期
『俳諧古集之弁』始・中・終巻	3 冊	江戸後期
『枇杷園随筆』	1 冊	江戸後期
正月 5 日付下里勘右衛門(蝶羽)宛谷木因書簡	1 幅	江戸中期
井上士朗画 芭蕉坐像図	1 幅	江戸後期
高田敬徳画・黄檗華頂賛 芭蕉・其角・嵐雪三聖図	1 幅	江戸後期
横井也有画 芭蕉坐像図	1 幅	江戸後期
『三上吟』	1 冊	江戸中期
『花供養』(慶応 3 年)	1 冊	幕末
『かものこゑ』	1 冊	明治
『清流』	1 冊	明治
『早苗のみけ』	1 冊	明治
『いなみしふ』	1 冊	明治
『髭ふくろ』	1 冊	明治
『千太楽仁』	1 冊	明治
『俳諧あまの河』	1 冊	江戸中期
『声の栞』下巻	1 冊	江戸後期

資 料 名	数 量	時 代
千代筆「露はまた」句短冊	1 幅	江戸中期～後期
仙石廬元坊筆「見えかゝる」等四句懷紙・田上菊舎筆「白ぎくや」句自画賛懷紙合装幅	1 幅	江戸後期
斯波園女筆「蓬生は」句懷紙	1 幅	江戸中期
市原多代女筆「晴口の」句短冊	1 幅	江戸後期～幕末
江馬細香筆墨竹図屏風	1 双	江戸後期
大正 12 年 2 月 25 日付守屋孫八宛南条文雄書簡	1 通	大正
『日本風景誌』	1 冊	昭和
大正 10 年 10 月 23 日付山田玄弘宛佐藤三吉書簡	1 通	大正
『地質学より見たる江ノ島岩屋』	1 冊	昭和
『耶馬溪彦山風景論』	1 冊	昭和
『子供の科学』昭和 6 年 8 月号	1 冊	昭和
『車窓から観た自然界 東海道』	1 冊	昭和
『天文の話・鉱物の話 小学生全集 62』	1 冊	昭和
『新式鉱物学』	1 冊	明治
『地学雑誌』第 325 号～第 336 号（合本）	12 冊	大正
『中学鉱物界』	1 冊	明治

(3) 預託資料

資 料 名	数 量	時 代
—	—	—

(4) 資料補修

資 料 名	数 量	時 代
谷木因賛・谿雪斎画 稚松二扇図	1 幅	江戸中期

大垣市奥の細道むすびの地記念館 学芸事業報告書 令和元年度

発 行 日 令和 2 年 3 月 31 日

編集・発行 大垣市教育委員会

〒503-8601

岐阜県大垣市丸の内 2 丁目 29 番地

TEL:0584-47-8067 (文化振興課 直通) FAX:0584-81-0715